



Southern Cross

くるす さざん

vol.29

KINAN HOSPITAL
OFFICIAL INFORMATION PAPER

July 1st, 2013

新庄公園にて



「ビッグバンドのすすめ」



小児科部長
杉本 卓也

New Faceさまに、趣味;社会人ジャズバンドでピアノ…などと書いたものですが、その話聞かせて、と記事を依頼された次第です。今回は「ジャズ」ではなく「バンド」のお話です。

ジャズというと暗いBarでタバコの煙越し、ピアノ・ベース・ドラムをバックにバラードを吹くサクソ、といったイメージでしょうか。4人=カルテット、5人=クインテットなどの少人数の編成をひっくるめて「ジャズコンボ」といい、即興演奏や楽器同士の駆け引きを楽しみます。楽譜もメロディーとコード(和音の組み合わせの記号)が書いてある程度の簡単なモノで、演奏者の技術と創造性が問われます。

これに対し、私が入っているバンドは「ビッグバンド」「ジャズオーケストラ」といい、ピアノ・ベース・ドラム・ギターにトランペット4人、トロンボーン4人、サクソ5人の管楽器を加えた計17人を基本構成とします。譜面もアレンジャーの手による“できあがった”ものがあり、即興演奏を主とするコンボジャズに対してビッグバンドでは「ハーモニー、アレンジの妙、迫力」を楽しみます。上野樹里主演の「スウィングガールズ」、あれです。譜面があるので管楽器の経験者は入っていきやすく、私が所属したバンドもいずれも高校の吹奏楽部のOBが集まって立ち上げたものです。

曲のジャンルとしてはスウィングジャズが多く、グレンミラーのIn the Mood、デュークエリントンのA列車で行こうなどは代表曲で、スウィングガールズでも演奏されています。日本にも「ルパン三世のテーマ'80」という名曲があります。「'80」です。できれば大きめの音量で聞いてみて下さい。これがビッグバンドです。

有名な「映画ロッキーのテーマ」のように、ロックやラテンなどジャズ以外でもビッグバンドで演奏されることがあります。



ビッグバンド

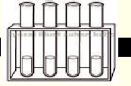
※手前にピアノ・ギター・ドラム(ベースは写っていない)。
奥のひな段;上からトランペット・トロンボーン・サクソ。
指揮者も1名います。

私事ですが、和歌山県立医大で軽音楽部「TheSwinging Cells」に入り、在学中から手伝っていた社会人バンド「Super Groover Jazz Orchestra(紀ノ川市)」に流れで加入。2年前に新宮に異動してからは「新宮Sunnyside Jazz Orchestra」に入り、現在に至ります。地元のイベントでの演奏が多いのですが、ライブハウスや神戸ハーバーランドでのジャズフェス参加など本格的な演奏もあります。You Tubeで「super groover jazz」と入力いただくと演奏が聴けます。

また、医療の世界は狭いものですが、バンドには果樹農家、パティシエ、トラックの運転手、焼き鳥屋の大将等々様々な“社会人”の方がおられ、いろんな世界が覗ける楽しみがあります。

ただ個人的には仕事柄?練習を休みがちで、ナントカの横好きとなっています。4月から新宮も遠くいよいよ難しくなり、6月の演奏会をもって残念ながら今のバンドを退きます。

演奏はしばらく休止で、聴くほうに専念です。みなさんもビッグバンドを、できれば生で聴いてみて下さい。今後この地域でも社会人ビッグバンドができればうれしいですね。



3月15日～17日に横浜で開催された日本循環器学会学術集会にて「FD-OCTの定量評価結果はCAG、IVUSと比較し本当に小さいか?」と題した演題を発表させて頂きました。演題の内容ですが、OCT(光断層干渉法)を用いて観察する際には一度血管内の血球成分を除去しなければなりません。血球を除去するには造影剤をフラッシュして除去するのが一般的ですが、紀南病院では造影剤による合併症を少なくするために低分子デキストランLを用いてフラッシュしております。しかしCAG(冠動脈造影)やIVUS(血管内超音波)と比較すると小さく計測されるため今回、実験を重ねた結果、本当にCAGやIVUSよりも小さかったと結論付けた内容でポスター発表させて頂きました。

学術集会に参加した感想ですが、コメディカルの学術集

会とは比較にならない規模で圧倒されました。今までは臨床工学技士の学会にしか参加した事がなかったので、英語の演題や同時通訳、外国の方の発表、教科書の著者になっている有名な先生の教育講演など非常に刺激になりました。おまけに楽しかったのがメーカーの出展ブースでした。出展数も多く、なぜか医療系の学会なのに電気自動車の展示があったり、コーヒー屋さん!?があったり記念撮影コーナーがあったりと楽しかったです。私もブースに足を運んでノベルティーをたくさん頂きました。

このような大規模学会に参加した事で多くの良い刺激を受けモチベーションも向上し、これからもっといろいろな知識を付けて頑張らなくてはいけないと思いました。

中央臨床検査部 小山 明日美

第34回和歌山県医学検査学会で発表した「発作性夜間ヘモグロビン尿症の1症例」で、和歌山県臨床検査技師会より学術奨励賞を頂きました。発作性夜間ヘモグロビン尿症(PNH)の診断には、補体感受性が亢進したPNH血球を検出するためのフローサイトメトリー検査が必要です。

しかし、そのような設備のない施設でも、砂糖水と血液を混合させて溶血をみる砂糖水試験と、血液を酸性に調整して溶血をみるHam試験は、容易に実施することができ、PNHの発見に有用です。本症例は当院で実施した両試験が診断の足掛かりとなり、その有用性を再認識した事例です。今後もより一層、知識、技術の向上に努め、臨床に有益な情報を提供できるよう励んでいきたいと思ひます。

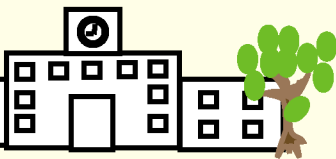
中央臨床検査部 木下 博之

この度、和歌山県臨床検査技師会会誌和臨技に寄稿した「腹部超音波検査が診断に有用であったエルシニア腸炎の1例 一回盲部に病変を来す感染性腸炎の鑑別」にて平成24年度和歌山県臨床検査技師会会長賞を頂きました。

発熱、下痢を主訴として入院した幼児に腹部超音波検査を施行したところ、終末回腸・虫垂・腸間膜リンパ節に著明な炎症を認めため、エルシニア腸炎の可能性を臨床に報告し、感受性のある抗菌薬に変更することで著効した症例を経験しました。この経験をもとに超音波画像を中心として回盲部に病変を来す感染性腸炎(キャンピロバクター腸炎・サルモネラ腸炎・腸管出血性大腸菌性腸炎・腸炎ピブリオ・腸チフス)の鑑別について比較検討した論文です。

日常検査の中で培った技術でこのような賞をいただくことができたことは大きな励みとなりました。今後も日々精進し結果を臨床にフィードバックできる検査をめざします。また日頃よりご指導、ご教示くださる皆様にお礼申し上げます。

学校だより



4月29日(月)当校では「看護の日」の学校行事として、参加型コンサート～音楽を通してつながりを広めよう～をテーマに病院や障害者施設、老人ホームなど幅広く活動されている、三谷朋子先生(愛知県立芸術大学声楽科卒業)にコンサートとその活動内容を講演していただきました。

「看護とは」をもう一度振り返り、考える機会となりました。また先生の優しい歌声に心がなごみ、癒されました。

6月8日(土)看護学生体験を行い、地域の高校生30名に参加していただきました。当校の学生(2年生30名)が、モデル人形を使用し、採血の方法を説明後、高校生の方々に体験していただきました。その後看護学生と高校生の交流会を催し、「良い体験ができた。」「おもしろかった。」「楽しかった。」「看護師になりたいと思った。」などの意見が聞かれました。これを機会に看護の仕事に興味をもち、進路決定の参考になってもらえればと思います。



地域医療連携だより

こんにちは小児科の番です。平成24年6月11日、たきない町に「赤ちゃんとかどものクリニックBe」を開業させていただきました。小児科をはじめ紀南病院スタッフの皆様方には大変お世話になっています。いつでも患者様を受け入れていただけるので日々安心して診療することができます。ありがとうございます。



赤ちゃんとかどもの クリニック Be 番 浩

榎本産婦人科で始めた病児保育ですが、今も「にじ色ひろば」としてクリニックの2階に保育室と交差感染を防ぐための個室を2つ作って、保育士さん2名体制で運営しています。感染症や体調不良で登園・登校できないお子さん(生後6か月～小学3年生)をお預かりしていますので、皆様(田辺市在住の方に限定)ご利用下さい。

当院の売上(収益ではありません)の半分以上はワクチンによるものです。ワクチン接種が増えることで感染症が減り、それに伴って採血検査、抗菌薬点滴の件数も激減しています。市町村の個別接種化が進んだことで、今まで以上にワクチン接種は小児科診療所にとって重要な業務の一つとなっています。



スティーブ・ジョブズ氏が亡くなって先行きの不安なApple社ですが、当院では、Mac、iPod、iPhone、iPadを使ってファイルメーカーPro®で自作した医療情報システムを使っています。スタッフ各自がiPodかiPhoneを持ち、タイムレコーダーとして使ったり、ヒヤリハットの報告、シフト表の確認、有給休暇の届出などに、またLINEアプリを院内電話の代わりに職員間の連絡に使っています。iPadでナースは指示確認や記録を、事務は予防接種予約を取っています。電話で対応しながら、予約メールを見ながら、また待合室で患者さんのすぐ傍で予約を取っています。リアルタイムで予約枠の状況がわかりますので、同時に複数のiPadから予約を取ることができます。

またワクチンは、種類が増えたことによって(特に同時接種でない場合や前회가他院での接種の場合に)混乱しやすいのですが、前回接種からの接種間隔のチェックを行うことができますし、接種歴、既往歴を確認しながら未接種ワクチンを薦めることもできます。予約票は、iPadからAirPrint機能で(無線でプリンターに接続して)印刷して患者さんにお渡ししています。

また当院の薬品庫が小さいために在庫管理が非常に煩雑なのですが、必要本数の集計を簡単に行うことができますので、計画的に発注することができます。iPad/iPod/iPhone用のアプリ(Filemaker Go®)は、無料でインストールすることができます。ファイルメーカーPro®を使い始めて17年になりますが、気に入っているソフトの一つで、頭の柔軟性を保てるように、楽しみながら改良を続けています。



赤ちゃんとかどものクリニック Be のロゴ

